

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

# 何が「自主的な話し合い」だ！

## 動労千葉 11/4 「働きがい向上プロジェクト」千葉支社団体交渉

この間、千葉支社では鴨川（鴨川運輸区、鴨川駅、蘇我駅）・木更津（木更津運輸区、木更津駅）・銚子（銚子運輸区、銚子駅）を対象に「働きがい向上プロジェクト」が行われています。

この問題について動労千葉は11月4日、千葉支社との団体交渉を行いました。

### 現場を業務融合に動員するな

会社はこのプロジェクトについて、「従来なら『できない』と思ってしまうところをプロジェクトのメンバーが話し合い、何が出来るかを考えてもらっている」

「会社側から『こういう事をやってくれ』と出しているわけではない」

「管理者だけでなく現場もメンバーだ」などと回答しました。

あたかも、「現場労働者の声を聞いている」かのような回答です。

しかし、会社自身がそもそもプロジェクトについて「系統の垣根を超え、営業も運輸も融合して、お互いに様々な業務に従事することによって、新しい発想も生まれる」という考え」と回答しています。

結局このプロジェクトは、どうすれば業務融合化できるか」に現場労働者を

動員する卑劣なやり方です。それを「社員同士の自主的な話し合い」かのように語ることで自体、許しがたいペテンです。

### 鉄道業務の軽視は許されない

「運転士なら運転士、車掌なら車掌の仕事をまず全うしなければならない。ないがしろにしてはならない。」という組合側からの発言に対しては、「それが従来の考え方だ」と回答しています。鉄道業務を軽視し、ないがしろにする会社の姿勢が表れています。

そもそも、業務融合化以前に乗務員の仕事は強化されギリギリの状態です。駅員も削られ、無人化や委託化が次々に行われています。これ以上の負担と矛盾を現場に押し付けるなど許せません。

### 融合化・職名廃止の撤回を

会社は3月から「木更津統括センター」を設置して乗務員と駅の融合化を強行しようとしています。同時に、現業職全ての職名廃止も狙われています。

日々、列車を運行し、安全を守っている労働者を軽んじていけば、鉄道の安全は守れなくなりません。「業務融合・職名廃止」提案は撤回以外にありません。